

# 気象と災害の概況

## ■ 概要

フィリピンの東で発生した台風第5号は東シナ海を北上し、20日9時には黄海を北に進んでいた。この台風や太平洋高気圧の影響で流れ込んだ暖かく湿った空気の影響により、長崎県の五島と対馬には台風周辺の発達した雨雲が19日夜から次々と流れ込んだため、数十年に一度の記録的な大雨となり、7月20日10時5分に長崎県の五島及び対馬市に大雨特別警報を発表した。

7月17日から22日までの総降水量は、長崎県対馬市厳原で477.5ミリなど九州北部地方で400ミリを超えたところがあり、7月の月降水量平年値を超える大雨となった。

この大雨の影響で、河川の氾濫、浸水害、土砂災害等により住家被害、停電、断水等ライフラインに被害が発生したほか、鉄道や航空機の運休等の交通障害が発生した（被害に関する情報は令和元年7月23日内閣府とりまとめによる）。

## ■ 災害状況

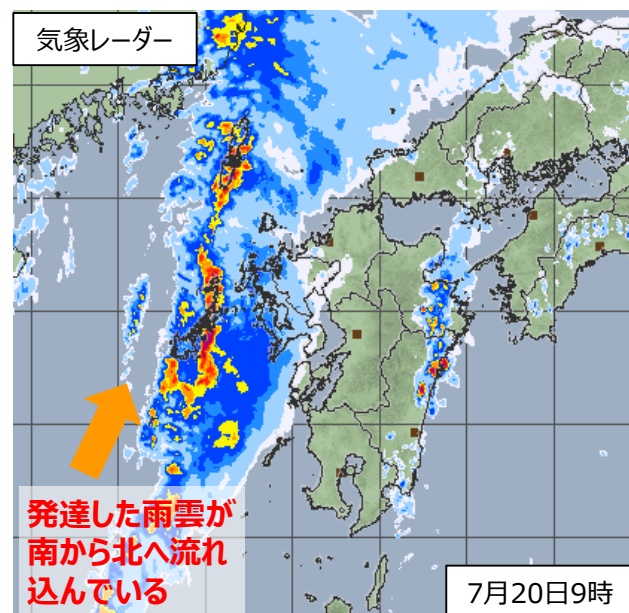
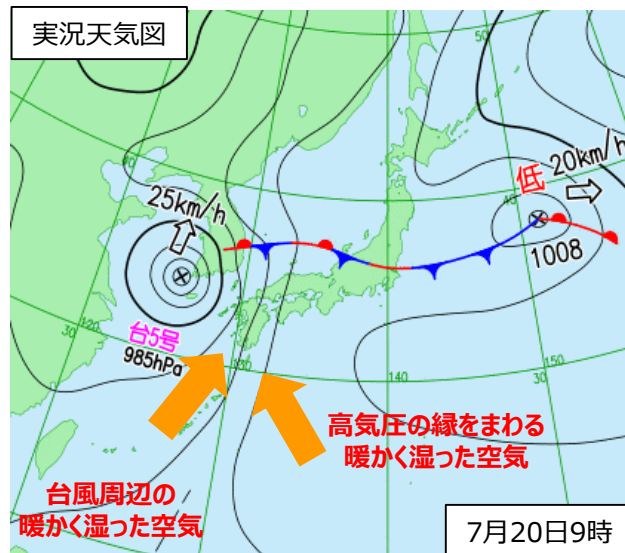
（被害に関する情報は令和元年7月23日内閣府とりまとめによる）

※長崎県のみ抜粋

人的被害 負傷者4名

住家被害 床上浸水12棟、床下浸水12棟

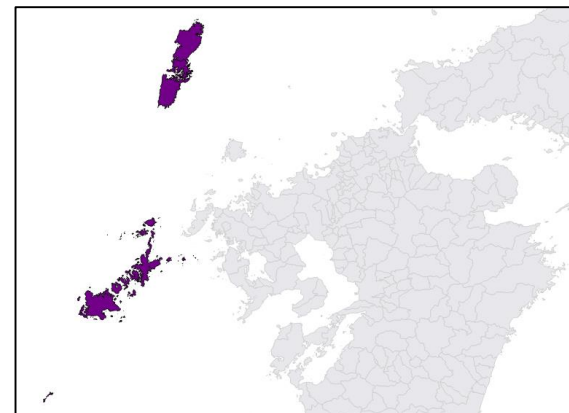
土砂災害 がけ崩れ13件 など



# 大雨特別警報発表状況と特定期間の降水量

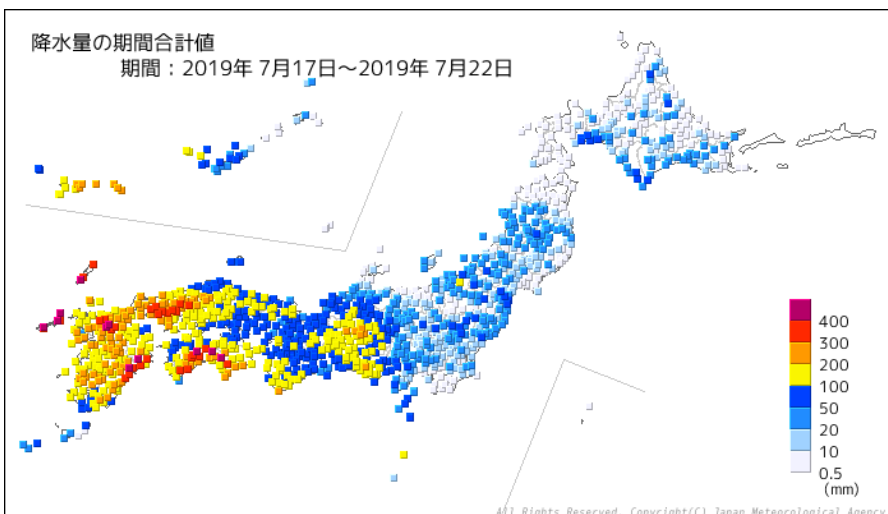
## ■ 大雨特別警報の発表状況

都道府県	発表地域	発表時刻	解除時刻
長崎県	上対馬（対馬市）	20日10時05分	20日16時10分
	下対馬（対馬市）	20日10時05分	20日16時10分
	佐世保市（宇久地域）	20日10時05分	20日15時10分
	西海市（江島・平島）	20日10時05分	20日15時10分
	小値賀町	20日10時05分	20日15時10分
	新上五島町	20日10時05分	20日15時10分
	五島市	20日10時05分	20日15時10分



■ 特別警報の発表地域

## ■ 令和元年7月17日から7月22日までの降水量の期間合計値



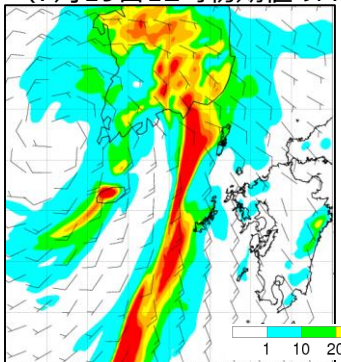
順位	都道府県	市町村	地点	期間合計値	
				※	mm
1	高知県	長岡郡本山町	本山(モトヤマ)	※	679.5
2	長崎県	対馬市	巖原(イツハラ)*	※	477.5
3	佐賀県	鳥栖市	鳥栖(トス)		470.5
4	大分県	佐伯市	宇目(ウメ)	※	457.0
5	高知県	吾川郡仁淀川町	池川(イケガワ)	※	453.0
6	福岡県	久留米市	久留米(クルメ)	※	450.0
7	長崎県	五島市	福江(フクエ)*	※	445.0
8	宮崎県	延岡市	北方(キタカタ)	※	437.0
9	高知県	香美市	大柄(オオドチ)	※	426.5
10	長崎県	南松浦郡新上五島町	有川(アリカワ)	※	404.0

※7月の月降水量の平年値を超えた地点（鳥栖は平年値がない）

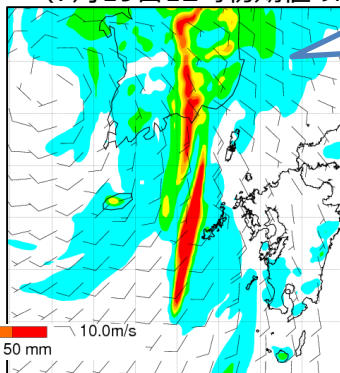
# 雨量の予想と実際の状況について（長崎県五島・対馬市）

- ・台風や太平洋高気圧の影響で流れ込んだ暖かく湿った空気の影響により発生した線状の降水帯により、20日18時までの24時間雨量が19日夕方時点の予想の倍以上の大雨となった。
- ・このような降水帯は、台風進路の少しのずれにより大きく位置が変わるため予想が難しい。本事例においても強雨域は予想よりも東にずれ、かつ長時間にわたり五島・対馬付近に停滞し続けたため、予想を上回る大雨となった。

7月20日09時の  
予想3時間雨量  
(7月19日12時初期値のMSM)



7月20日15時の  
予想3時間雨量  
(7月19日12時初期値のMSM)



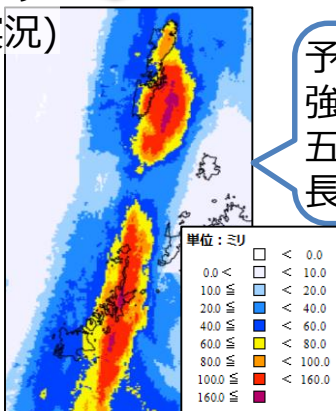
強雨域は五島・対馬の西に停滞すると予想していた。

ただし、強雨域の一部は五島・対馬にかかる可能性があると予想していた。

19日夕方時点の  
予想24時間雨量（多い所）

	20日18時まで
五島	200ミリ
対馬	150ミリ

20日09時までの  
3時間雨量(実況)

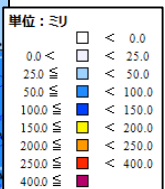
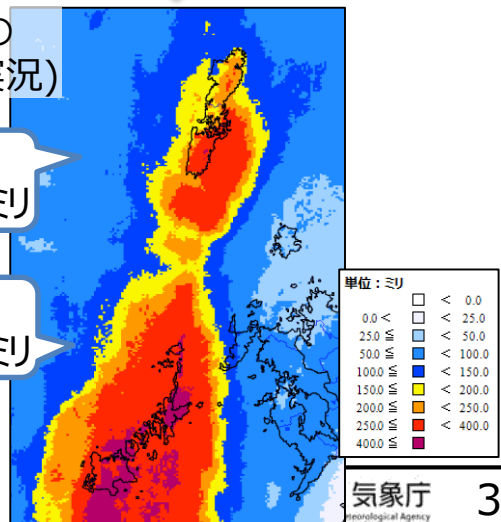


予想よりも強雨域は東にずれ、五島・対馬付近に長時間停滞した。

20日18時までの  
24時間雨量(実況)

対馬市では約250ミリから400ミリ

五島では約400ミリから500ミリ



# 大雨特別警報の発表について

- 20日9時半の時点で、今後も雨が降り続き、大雨特別警報の指標を満たすと予想したことから、10時05分に長崎県五島及び対馬市に大雨特別警報を発表した（実際に、10時半に指標を満たした）。
- 前日19日の時点では、五島や対馬市では大雨となる予想はしていたものの、大雨特別警報を発表する可能性は低いと判断しており、事前に特別警報発表の可能性について言及することは困難であった。

## 前日夕方に発表した長崎県気象情報

令和元年台風第5号に関する長崎県気象情報 第3号  
令和元年7月19日17時10分 長崎地方気象台発表

（見出し）  
長崎県では21日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒してください。また、海上では20日は暴風やうねりを伴った高波に警戒してください。

（本文）

<中略>

長崎県では、台風や高気圧周辺の暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が非常に不安定となるため、19日夜から20日にかけて局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降り、大雨となるおそれがあります。特に、21日にかけて総降水量が多くなる見込みの吉岐・対馬と五島では、土砂災害の危険度が高くなるおそれがあります。

<中略>

<雨の予想>

<中略>

19日18時から20日18時までの24時間降水量（多い所）

五島 200ミリ  
吉岐・対馬 150ミリ  
南部、北部 120ミリ

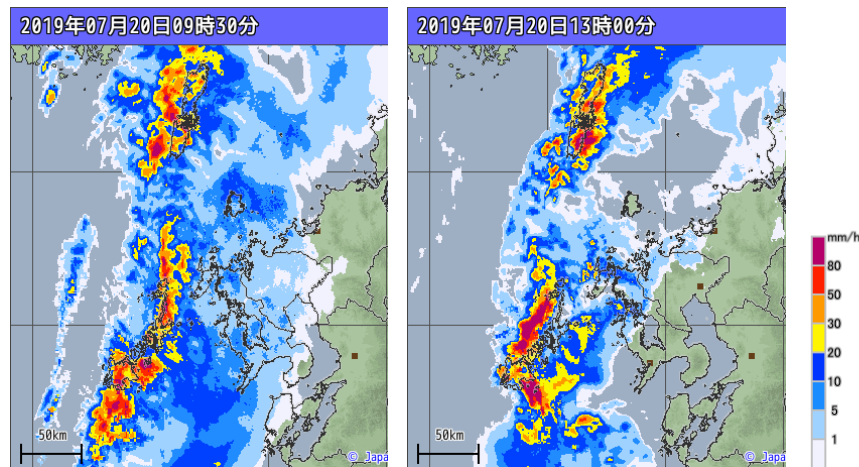
20日18時から21日18時までの24時間降水量（多い所）

長崎県 100から200ミリ

<以下略>

## 20日18時までの24時間降水量

	予想（19日17時時点）	実況（アメダス）	
五島	200ミリ（多いところ）	福江（五島市）	385.5ミリ
対馬	150ミリ（多いところ）	厳原（対馬市）	304.0ミリ



20日09時30分

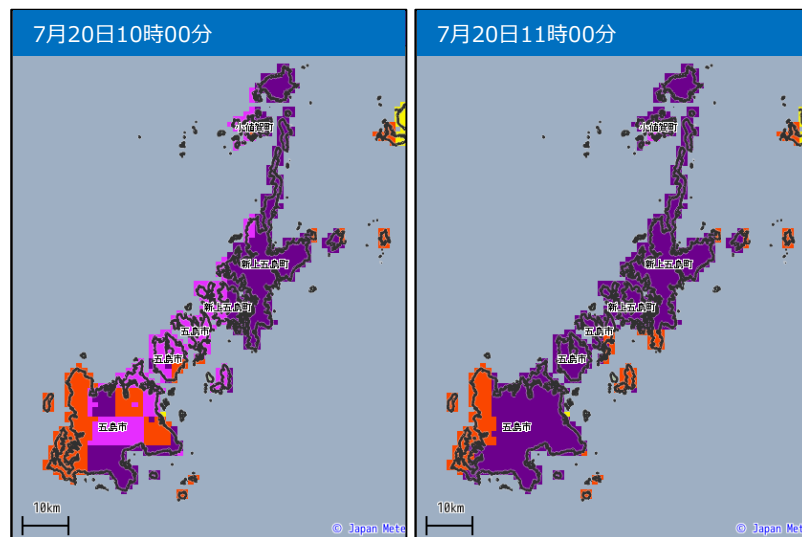
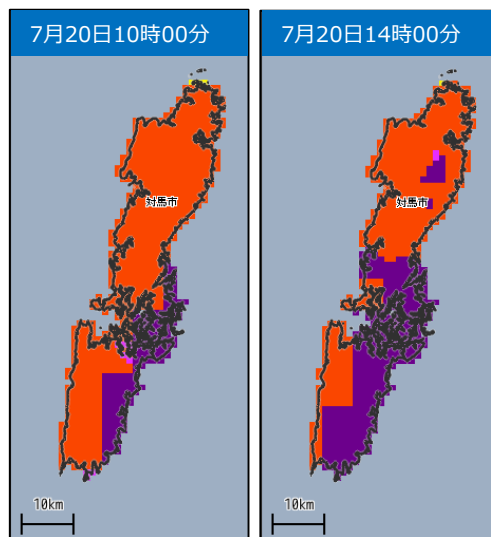
20日13時00分

雨雲の動き（降水強度分布）

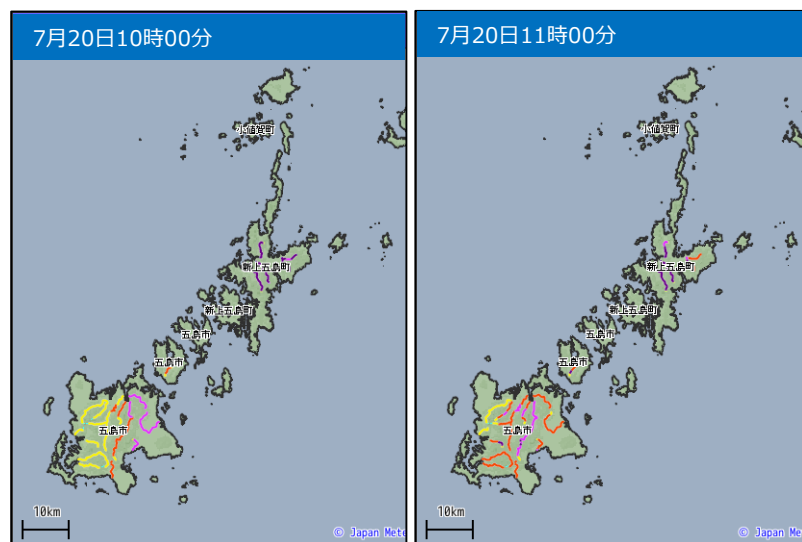
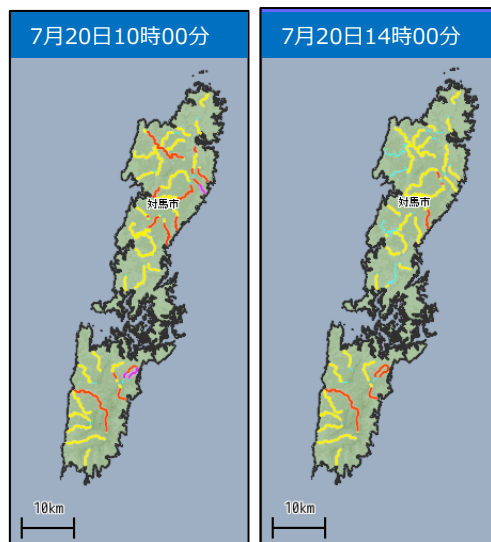
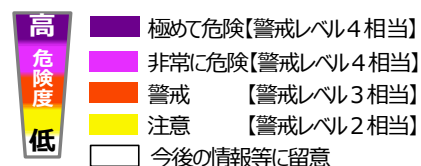


# 危険度分布の状況

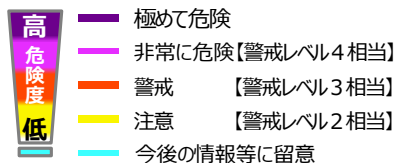
・長崎県の五島及び対馬市では、危険度分布の「極めて危険」（濃い紫）が出現した後も大雨が継続した。特に土砂災害について、広い範囲で「極めて危険」な状況が長時間継続した。



大雨警報（土砂災害）の危険度分布  
（土砂災害警戒判定メッシュ情報）



洪水警報の危険度分布



※ 危険度分布と災害の検証については、災害データが一定程度整理された段階で別途実施して参ります。

# 大雨警報（土砂災害）等の発表について（対馬市厳原町の事例）

- ・対馬市厳原町における土砂災害事例においては、土砂崩れ発生までに土砂災害警戒情報が発表されていた。

## 被害状況

報道によると、対馬市厳原町尾浦地区では20日午前11時頃、落石で市道が通れなくなり、集落が孤立状態になっていた。

## 防災気象情報の発表状況

日時	状況
7/20 00:25	大雨警報(土砂災害)発表
7/20 03:40	危険度分布「赤」出現
7/20 07:40	危険度分布「うす紫」出現
7/20 07:48	土砂災害警戒情報発表
7/20 08:00	危険度分布「濃い紫」出現
7/20 10:05	大雨特別警報（土砂災害）発表
7/20 11:00	土砂災害発生の通報